

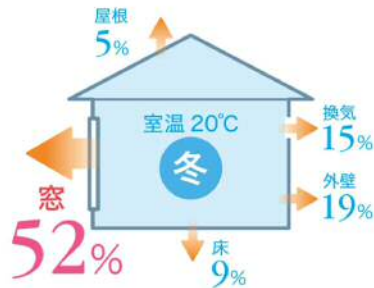
アルミ窓から、 “あたらしい アルミ樹脂複合窓”に進化

断熱性能が飛躍的に向上！ こちよ空間が生まれます。

窓は熱の出入りがいちばん多い場所です。

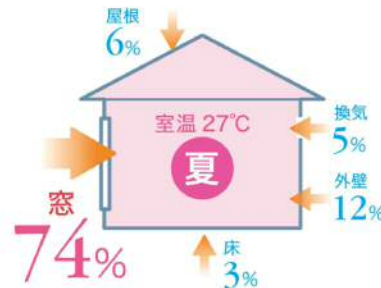
冬に流出する熱の割合 外気温 0.5℃

選定日：日平均外気温の最低日、2月24日5～6時、東京



夏に流入する熱の割合 外気温 33.4℃

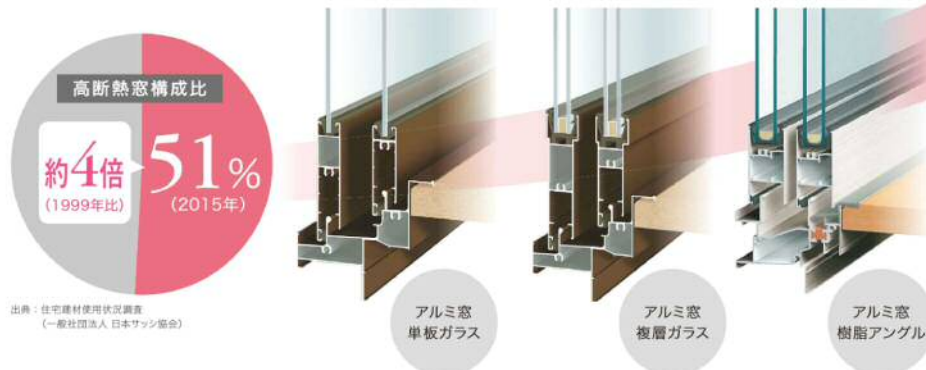
選定日：日平均外気温の最大日、8月10日14～15時、東京



【算出条件】窓からの熱の流入出比率
 ●使用ソフト：AE-Sim/Heat (建築の温熱環境シミュレーションプログラム) (株) 建築環境ソリューションズ
 ●気象データ：「気象メテオシステム」2000年産 標準年(一社) 日本建築学会
 ●住宅モデル：2階建て/延床面積 120.08㎡/開口部面積 32.2㎡(4～8地域) 「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説書 住宅」標準住戸のプラン
 ●躯体：平成28年省エネルギー基準レベル相当 ●断熱：アルミ(複層ガラス)

省エネや環境への配慮…さまざまな要因が重なって、
日本の窓はどんどん「高断熱窓^{*}」に変わっています。

※高断熱窓＝断熱性能が高い「樹脂窓」複合窓



出典：住宅建材使用状況調査 (一般社団法人 日本サッシ協会)

●商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。

窓の室内側に、断熱性・防露性に優れた『樹脂』のメリットをプラス(=複合構造)

エピソードNEO

〈室外側〉
アルミ

〈室内側〉
樹脂

アルミ窓から
進化



※【平成28年省エネルギー基準】
 「建具とガラスの組合せによる開口部の熱貫流率 樹脂と金属の複合材料製建具+Low-E複層ガラス(中空層10mm以上)/複層ガラス(中空層10mm以上)」
 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

断熱性能が高い「エピソードNEO」なら、年間冷暖房費も節約できます。

■各地域の年間冷暖房費の比較 (エアコン設定温度 冬20℃、夏27℃の場合)

地域	アルミ窓 (複層ガラス)	エピソードNEO (Low-E複層ガラス)
東京	41,715円	34,629円
名古屋	50,468円	42,005円
大阪	46,803円	38,882円
福岡	41,822円	35,307円

【算出条件】建築の温熱環境シミュレーションプログラム「AE-Sim/Heat」(株) 建築環境ソリューションズを用いて算出した年間冷暖房費を「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説書 住宅(一対) 建築環境・省エネルギー情報」に基づきエネルギー消費費、冷暖房費に換算。
 ●気象データ：「気象メテオシステム」2000年産 標準年(一社) 日本建築学会 ●計算地点：東京、名古屋、大阪、福岡
 ●住宅モデル：2階建て/延床面積：120.08㎡/開口部面積：32.2㎡(4～8地域) 「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説書 住宅」標準住戸のプラン
 ●住宅の仕様：開口部※1：アルミサッシ(樹脂(A4L2A10未満))、アルミ樹脂複合サッシ(Low-E複層ガラス対射線透過率(A10以上)) 断熱：平成25年省エネルギー基準適合レベル
 ●断熱材：居室の壁にレースカーテン、和室の壁に和障子を併用
 ●居住者：4人家族 ●空調設定：暖房20℃、冷房27℃(仕事時28℃)、60% ●空調運転方法：節電運転
 ●電気料金単価：27円/kWh(税込) (注) 全国家電製品公正取引協議会 新電力料金目安単価
 ※1【熱貫流率】仕様に応じた開口部の熱貫流率を使用 【日射取得率】ガラス種別及び付属部材に応じた日射取得率を使用

エピソードNEO YKK AP

※YKKap製の複合樹脂サッシです。物件によりLIXIL製の複合樹脂サッシになる場合がございます。